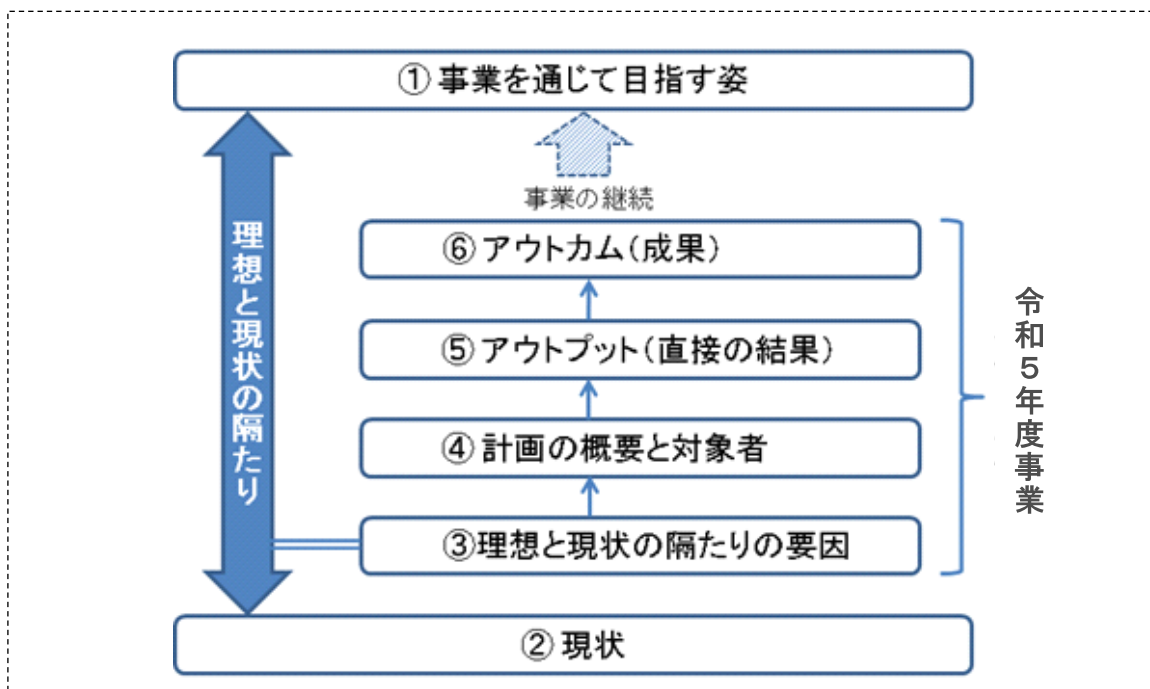


事業計画書

事業名	みんなの居場所実現プロジェクト	
グループ名	みんなの居場所研究会	
代表団体	名称	手と手と手あさくち
	住所	岡山県浅口市金光町大谷
	担当者	大武智恵
	電話番号	0865-43-0130
	E-mail	harenohi.tomozou@gmail.com

◆ 記入する項目の関係図

次の図は、この事業計画書の各項目の関係を示したものです。以下、この図を意識しながら、各項目に記入する内容を検討してください。



◆ アウトプット（直接の結果）とアウトカム（成果）について

アウトプットとは 事業の直接の結果であり、事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスが提供されたかをいいます。

アウトカムとは 事業の成果であり、アウトプットが地域や社会、人にもたらす変化や効果をいいます。事業はこのアウトカムを生み出せるように計画します。アウトカムには、アウトプットに直結した短期のものと、目指す姿へつながる長期のものがあります。

アウトプットとアウトカムの関係

事業を実施すると、まず、○○○というアウトプットが生じ、次にその成果として、△△△というアウトカムが生じる関係にあります。

事業実施→アウトプット→アウトカム

◆ アウトプットとアウトカムの例

事業名	活動	アウトプット	アウトカム（短期）	アウトカム（長期）
学習支援事業	学習会の開催	月4回、各回20名参加	参加者の学習意欲の向上	家庭での学習習慣の定着
就労支援事業	冊子作成・配布	1千冊作成、800人に配布	就労に必要な知識の習得	就労の定着、経済的自立
保護者支援事業	居場所の運営	週2回、各回15名参加	育児の負担感の緩和	子どもの健やかな成長
移動支援事業	高齢者の送迎	週2回、各回5名利用	移動手段の選択肢の増加	移動困難者の減少

1 事業を通じて目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。事業の実施により、地域課題が改善に向かった後、「どのような地域・人が、どのような状態になっていることを目指すのか」について、具体的に記入してください。

浅口エリアにおいて、子どもと保護者の第三の居場所を複数開催することで、子どもにとって安心できる場所を提供し、親子のコミュニケーションや絆を大切にすることで、子どもが安心して成長していく環境をつくれます。

2 現状

1「事業を通じて目指す姿」と比べて、現状はどのような状況にありますか。「どのような地域・人が、どのような状況にあるのか」について、具体的に記入してください。

浅口市内には子どもや保護者の居場所（親の会）等が少なく、不登校の子どもや発達に課題のある子どもの第三の居場所の選択肢を求められています。現在、子育ての悩み等に対しての相談をペアレントメンターとして受ける中で、市内での子どもと保護者の居場や児童館がなく、また、共働きによる生活スタイルの変化により保護者同士のつながりが希薄となり、保護者のストレスや育児負担が増加していることで生じる家庭のトラブルに関する相談が多いのが現状です。

3 目指す姿と現状の隔たりの要因

1「事業を通じて目指す姿」と2「現状」との隔たりを生み出している、主な原因はどのようなものと考えますか。

ひとり親家庭や共働き家庭が増加しており、家事や仕事に追われ日々の営みや家族の時間を楽しむことが難しい家庭が少ない現状に加え、家庭以外の居場所（つどい）が近場にないことや気軽に情報交換できるような保護者同士の交流の場や機会がないことが原因と考えます。

4 計画の概要と対象者（令和5年度）

(1) 事業の形式

次のいずれか該当する事業の形式に☑をしてください（両方でも可）。

- 実践を通じてグループ内でノウハウを受け継ぐ事業
- グループ内の団体それぞれが持つノウハウを持ち寄り、地域の新たな催しや地域資源を開発する事業

(2) 計画の概要

3 「目指す姿と現状の隔たりの要因」を取り除くため、どのような事業を実施しますか。
「どのような地域・人に対して、どのような活動を行うのか」について、簡潔に記入してください。（※計画の詳細は下記7に記入してください）。

浅口市内において、どのような居場所が必要なのかを調査するとともに、長期休暇を中心に、居場所の開設を行います。その中で、自分も居場所の開設を行いたいという協力者を増やし、市内の居場所開設日を増やすことを目指します。地域への働きかけとしては、WebページやSNSを活用した地域情報や活動の様子発信を行います。

5 アウトプット（直接の結果）

(1) 事業を通じて提供するサービス

事業を通じて、「どのような地域・人に対し、どのようなサービスを提供するのか」について、具体的に記入してください。

浅口市内において、長期休暇の間、①学ぶ ②集う ③食べるについての居場所の開設を行います。主に、小中学生とその保護者が対象となりますが、未就学児、高校生、大学生、地域の方の参加も可能です。

(2) アウトプットを測る指標と数値目標

事業のアウトプットを測る指標はどのようなものですか。「どのような項目が、現状はどの程度で、それをどの程度にしたいのか」について、具体的に記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
居場所の開催 開設日	4日	30日
居場所の開催 参加者数	45人	500人

(3) アウトプットの測定方法

事業を通じて、アウトプットを測る指標をどのように測りますか。数値目標の達成状況を把握できる、具体的な方法を記入してください。

居場所の開催 開設日 …実績数
居場所の開催 参加者数 …参加実績数
運営 協力者 …LINE グループのメンバー数

6 アウトカム（事業の成果）

(1) 長期のアウトカム

1 「**事業を通じて目指す姿**」の一段階手前の状況はどのようなものですか。最終的に実現しようとしている、地域・人の変化や効果を具体的に記入してください。

現在、ペアレントメンターに寄せられる相談件数平均 10 回／月のうち8割程度が居場所の問題となっています。浅口市内に保護者や子どもが集える居場所が多く開設されることで居場所の選択肢が増え、悩んでいる保護者の数(居場所についての相談件数)を減らすことを目指しています。

(2) 短期のアウトカム

今年度の事業のアウトプットを通じて、実現したい成果はどのようなものですか。アウトプットから今年度中に導かれる地域・人の変化や効果を具体的に記入してください。

居場所の開設を通して、市内に必要な居場所のニーズを収集し、次年度以降の計画に反映させていきます。また、自分もできることで協力したいという人を募り、活躍の場の提供にもつなげていきます。

(3) 短期のアウトカムを測る指標と数値目標

事業のアウトカムを測る指標はどのようなものですか。「どのような項目が、現状はどの程度で、それをどの程度にしたいのか」について、具体的に記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
相談件数	10 件／月	5 件／月
運営 協力者	22 人	50 人

7 計画の詳細

(1) 事業の具体的な内容

浅口市内において、親と子を対象とした居場所の開設を行います。主に、小中学生が対象となりますが、未就学児、高校生、大学生の参加も可能です。

【開催日時】夏休み期間の中で調整

- ① 自由研究フォロー / ワークショップの実施
- ② 学習支援 / 宿題や課題研究の支援
- ③ 食事の支援 / 子ども食堂の開催、お弁当の配食など

【開催日時】冬休み期間の中で調整

- ① 学習支援 / 宿題や課題研究の支援
- ② 食事の支援 / 子ども食堂の開催、お弁当の配食など
- ③ 体験の場 / 職業体験などのイベントの開催

【開催場所】金光町：大谷みかげスクエア 鴨方町：合同会社 OEN 事務所、みどりヶ丘いきいきプラザ、寄島町：寄島ぷらっと Home など

【情報発信】

- ① 居場所に関する情報を発信
- ② チラシ制作
- ③ Webページの製作
- ④ 活動の様子をSNSで発信

(2) 事業のスケジュール（準備～実施～報告）

7月～	企画会議、チラシ制作、SNSによる情報発信
8月	夏季休暇居場所の開設、WEBページの企画、SNSによる情報発信
9月	企画会議、WEBページの制作、SNSによる情報発信
10月	企画会議、WEBページの制作、SNSによる情報発信
11月	企画会議、WEBページの制作、SNSによる情報発信
12月	冬期休暇居場所の開設、SNSによる情報発信
1月	企画会議、パンフレットの作成、SNSによる情報発信
2月	企画会議、報告書の作成
3月	企画会議

8 ノウハウとその有効性

ノウハウとは、団体が過去に実施した活動の中で習得したり、成功や失敗の経験から得たりした、地域の課題解決に有効な手法や技術などの蓄積を言います。それぞれの団体が有するノウハウの内容と、それを事業にどのように活かせるのかについて、具体的に記入してください。

手と手と手あさくち

主宰自身が発達障害のこどもを育てた経験と、多くの保護者からの相談を受けてきた経験から、保護者がストレスを抱える場面や支援を求めるハードルの高さ、地域へのニーズなど保護者の視点に精通しています。団体の課題は情報発信が万全ではなく、必要な方に情報が届けられていないことです。

仲間がいる不登校の親の会 ふわさば倉敷

不登校や登校渋りの子どもの保護者の方との座談会や、お弁当配達の活動等の経験をともに、継続するためのノウハウについての助言を行います。

9 事業完了後の取り組み

補助金の交付条件として、事業の完了後1年以内に、事業の成果を活かした取り組みを実施することとしています。事業の成果が継続して地域に根付くのに有効な取り組みであれば、その規模や内容は問いません。事業完了後に予定している取り組みの内容を具体的に記入してください。

(1) 事業の実施主体となる団体名

手と手と手あさくち

(2) 事業完了後の取り組みの概要

- みんなの居場所研究会の実施
- 居場所の開設
- 情報発信

10 SDGs との関係

次のSDGsの17のゴールのうち、申請する事業に関係する番号を選び、1～2個記入してください。なお、当補助金の要件を満たせば17（パートナーシップで目標を達成しよう）に該当しますので、あらかじめ記入しています。

- ① 10 ② 16 ③ 17

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<p>1 貧困をなくそう</p> 	<p>2 飢餓をゼロに</p> 	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 
<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> 	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> 	<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> 	<p>8 働きがいも経済成長も</p> 
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> 	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p> 	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>12 つくる責任 つかう責任</p> 
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> 	<p>14 海の豊かさを守ろう</p> 	<p>15 陸の豊かさを守ろう</p> 	<p>16 平和と公正をすべての人に</p> 
<p>SDGsとは 2030年に向けて世界が合意した持続可能な開発目標です。経済・社会・環境の諸課題の統合的な解決を目指し、17のゴールは基本コンセプトである「だれ一人取り残さない」を実現するために、分野別の目標としてまとめたものです。</p>			<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> 